



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

緑と大会
ふれあいの
文化都市

広報

もろやま

10

NO.854

2011年10月20日
(平成23年)

第1団地2区

目白台自治会

平成17年度



Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

CONTENTS

特集「はぐくむ」

—未来を紡ぐ地域のか—…2～13

もろやま教育NOW	14
ぼくらのキャンパス	15
わだいの特選	16
キラリ輝いています	17
やくばの仕事をご紹介します	18
インフォメーション	19～33
毛呂山思い出写真館	34

今月のとびきりスマイル☆



「町民レクリエーション
大会」にて

毎週水曜日は、午後7時まで
窓口業務を延長しています。

税務課・住民課・子ども課
高齢者支援課・福祉課・水道課



QRコード

特集

「はぐくむ」

— 未来を紡ぐ^{つむ}地域の力 —

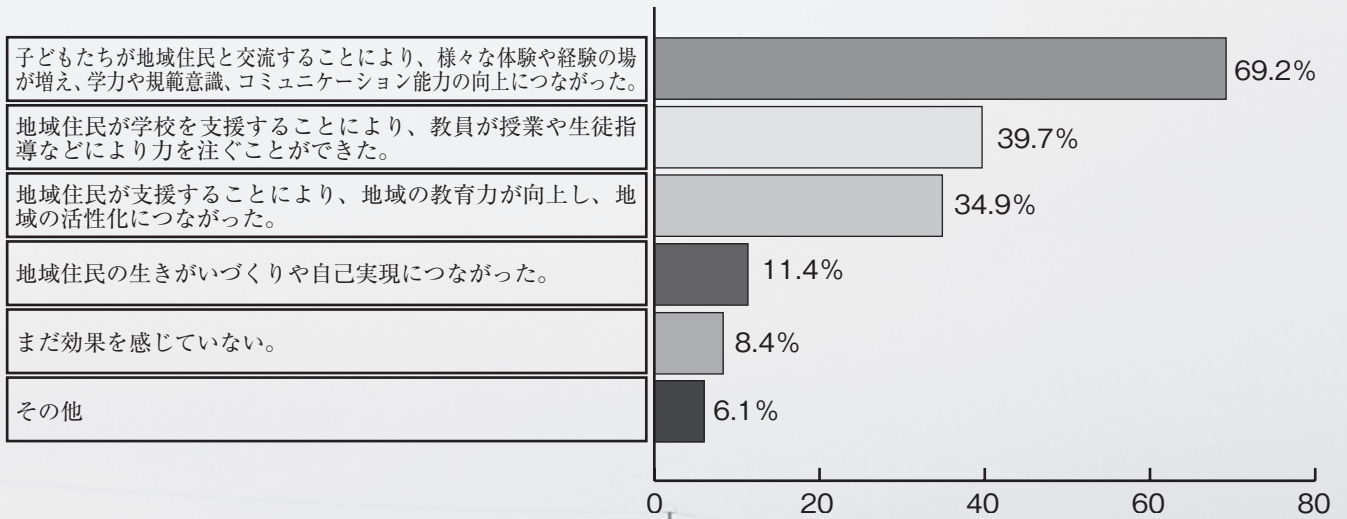
平成20年3月、文部科学省はそれまでの学習指導要領を改訂しました。この新しい学習指導要領は、小中学校は平成23年4月から、中学校は平成24年4月から、高等学校は平成25年の入学生から、全ての教科で実施されます。

新しい学習指導要領では、子どもたちの現状をふまえ、これまでの学習指導要領にならい「生きる力」をはぐくむという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視しています。

その内容として、まず学校で学ぶ内容の充実と授業時間の増加があげられます。外国語教育や理数教育、道徳教育、体験活動、伝統や文化に関する教育が充実します。また、授業時間の増加については、つまずきやすい内容を確実に習得するための繰り返し学習や知識・技能を活用する学習の充実が図られます。

このように、学校で学ぶ内容が充実しますが、これは「ゆとり」か「詰め込み」かという教育ではなく、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力などの育成の両方を大切にとらえ、それぞれの力をバランスよく伸ばしていくこと

学校支援地域本部事業に取り組んだことによる効果（複数回答）



※平成 21 年度「学校支援地域本部事業」実態調査研究より

調査対象：文部科学省が実施する学校支援地域本部事業におけるすべての本部につき各1校

※学校支援地域本部とは、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に文部科学省が全国の市町村に設置を推奨した取組です。

川角小学校「田植え体験」

に主眼を置いた内容なのです。

また、新しい学習指導要領では、「生きる力」をはぐくむためには、学校だけでなく、家庭や地域といった社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが大切であるとうたっています。

家庭においては、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、自立心を育成し、心身に調和のとれた発達を図ることを期待しています。

そして、地域においては、様々な立場の人がボランティアとして教育活動を支援することで、子どもたちが豊かな心や健やかな体の育成など様々な力を身につけることを期待しています。平成21年度に文部科学省が行った「学校支援地域本部事業」実態調査研究（上のグラフを参照）によると、子どもたちが地域住民と交流することで学力や規範意識、コミュニケーション能力が向上したという回答が、実に70パーセント近くもありました。

そこで、今回の特集では、毛呂山町における地域の人たちによる様々な取組を紹介することで「地域の力」を考えたいと思います。



毛呂山町子ども会育成会連絡協議会主催「第2回海の子体験クラブ」

Chapter 01

育てる

他校の子どもたちとのふれあい
 地域の人たちとのコミュニケーション
 それは学校では味わうことのできない
 貴重な楽しさ

子ども会

子どもたちが生活する最も身近なコミュニティが、それぞれの住む地域であり自治会です。現在、毛呂山町には、35の地区に子ども会があります。

本来、子ども会活動とは、遊びをとおして年齢の違った子どもたちが一緒に活動することによって仲間を作り、一定のルールのなかで様々なことを学び、成長していくことを助けるためにあります。

しかし近年、少子化が全国的に進み大きな問題となっています。毛呂山町も例外ではなく、この5年をみても、およそ80人も子どもの数が減少しています。

昔は、夏休みともなると屋外で元気に遊ぶ子どもたちがよく見かけましたが、最近では少なく

なっているように思えます。これ

は、少子化や屋外で遊ぶ子どもの数が減ってしまっただけでなく、子どもたちの遊ぶ場所が限られてしまっ

たことや、屋外で遊ぶ方法がわからない子どもが増えていることも原因と考えられます。しかし、子どもは

この時期、様々なものを見て、聞いて、触って、実際に行ってみたい

ぶことも多いのです。

その様ななか、子ども会では各自

自治会と連携して、子どもたちに遊び

方や機会を提供し、少しでも子ども

たちが安全に楽しく遊ぶことができ

るような取組をしています。例えば

現在、地域で行われている「ふれあい・いきいきサロン」においても地域の役員と子ども会とが綿密な話し

合いをし、一人でも多くの子どもが参加できるように運営している地区も多くみられます。子どもたちに



「町民レクリエーション大会」
 子ども会リレー

としては、いつも遊ぶ相手と違った子どもと遊んだり、自分より年の離れた人と接することでコミュニケーション能力や社会性を養うことのできる場にもなっています。

子ども会は、地域に住む子どもたちが、地域の人たちとも接することができる場です。自治会と連携して様々な催しを企画することで、子どもたちは、同年代の子どもたちだけでなく、近所の大人たちとも接し、たくさんのお話を学んでいます。

毛呂山町子ども会 育成会連絡協議会

毛呂山町子ども会育成会連絡協議会（以下「毛呂子連」）は、町内全体的な子どもたちの健全な育成を目的

Topics 毛呂山町青少年相談員協議会

毛呂山町青少年相談員協議会は、別名「お兄さん、お姉さん活動」とも呼ばれている。町内に在住・在勤の32歳以下の若者が、主に小学生を対象に、様々な遊びを提供するだけでなく、子どもたちと一緒に遊ぶ活動をしている。

年間をとおしての主な活動としては、春のサイクリング、夏のキャンプ、秋のヤングフェスティバル、冬のドッジボール大会などがある。その他にも遊び会など不定期の行事も行っている。子どもたちと楽しく遊ぶことをとおして、相談員自らも子どもたちとともに成長することができる活動ともいえる。



「もろっこキャンプ 2011」



「子ども会ソフトボール・ティーボール大会」

に活動を行っています。毛呂子連は、町内全体をひとつの大きな地域と捉え、子どもたちに様々な体験をしてみらおうと活動しています。小学生には、他の学校の子どもたちと遊ぶことで、遊び仲間

の輪を広げ、さらに大人と接することで、社会の規範などを学ぶための場を提供しています。また、中学生や高校生には、シニアリーダー育成活動をおして、次代の子どもたちを育成するための資質を養ってもらうために力を注いでいます。毛呂子連では、夏のソフトボール・ティーボール大会や海の子体験クラブ、冬に行われる彩の国21世紀郷土かるた毛呂山町大会などを主催するだけでなく、子どもたちのニーズを捉え、ひとりでも多くの子どもがより多くの体験をできるように、今後さまざまな事業を展開していく予定です。

子どもたちにもっと体験を！

現在、町内にある子ども会のうち毛呂子連に加入しているのは13団体と年々減ってきている現状にあります。毛呂子連の活動の大きな目的は、町内の子どもの健全育成を図ることにありますが、加入団体の減少が少ななりとも活動に影響している面があります。

私たち毛呂子連の活動は、子どもたちにたくさん体験の場を提供する活動であると認識しています。地区という範囲にとらわれず、町全体の子どもたちに等しく体験の場を提供することを考え活動しています。子どもたちは、可能性で満ち溢れており、様々なことを体験することで、吸収し、成長していきます。それは、勉強やスポーツ、遊びだけでなく体験する全てのことから様々なことを学び、社会性を培っていきます。例えば、「海の子体験クラブ」は、海のない埼玉県に暮らしている子どもたちに海のすばらしさを体験してもらおうということで始まったプログラムですが、参加した子ども

たちは、僅か2泊3日で、海で遊ぶことやそこで暮らす人の生活を実際に見ることをとおして、実に様々なことを学んで帰ってきます。「帰ってきてから、生活習慣がすっかりしてきた」と親御さんから声をかけていただいたこともありました。

子どもたちの未来に対する可能性は無限です。その可能性を引き出してあげるためには、子ども同士の遊びや地域の大人と接することなど様々な体験が不可欠です。その手助けをしていくのが私たち毛呂子連の努めです。子どもたちの健やかな成長のためにも、もっと多くの団体に毛呂子連に加入してもらいたいと思っています。



毛呂山町子ども会育成会連絡協議会
しもぎきのりひろ
霜崎 徳裕 会長

Chapter 02

教える



川角中学校サマーセミナー「英検コース」

一人ひとりの理解度に合わせて
段階を踏んで学ぶ

教える側と教わる側の信頼関係が
「わかる」を生み出す

学力向上毛呂山プラン

子どもたちが成長する過程で必要
不可欠な要素が「学び」です。

毛呂山町では、子どもたちの「学
び」を助けるため、『学力向上毛呂
山プラン』を策定し、子どもたちが
確かな学力を身につけ、自分自身の
進路を自由に選択していくことがで
きるように、学習のつまづきを排除
し、基礎学力の水準を高めるための
取組を行っています。

どのように丹念に授業を行って
も、子どもたちの間に学力の差が生
じることは避けることができません。
問題はそれをどのように縮め、
全ての子どもたちが次の課題にス
ムーズに進めるようにするかとい
うことです。そのための具体的な取組
として、次の4つの取組を組織的に
実践しています。

① 支援員の活用

児童生徒支援員が生徒指導の補助
にあたり、授業規律の確立に努めて
おり、学力向上支援員が補充学習や
少人数指導を行い、きめ細やかな指
導を行っています。

② 授業研究会

児童・生徒の学力を向上するため
の授業の工夫・改善に重点を置き研



「英検コース」では丁寧な個別指導も

修を行っています。

③ 基礎学力重点指導

朝の会や授業の始めの5分間など
を利用して、読み・書き・計算に焦
点を当てた学習を行います。短時間
の反復学習を毎日行うことで、学習
内容の定着を図ることができます。

④ 補充授業の充実

その子が不得手とするとところを重
点的に補うことで、つまづく箇所を
丹念につぶしていきます。一人ひと
りの学習状況に応じて行うため、何
年も前の単元に遡り指導することが
できます。

学力向上支援員

『学力向上毛呂山プラン』のなか
で、子どもたちの学力向上の要とな
る取組が学力向上支援員です。学力
向上支援員は平成13年に導入された
町独自の事業で、現在、小学校各校
に2人、中学校各校に3人配置され
ています。

支援員の仕事は多岐にわたって
います。授業中は教室内を回りなが
ら、集中力の途切れた子に声をかけ
て励ましたり、内容がわからず手が
止まっている子の理解を手助けした
りします。また、少人数指導の教室
も受け持ち、一人ひとりの習熟度

Topics 地域雇用創造 ICT
きずな
絆プロジェクト

このプロジェクトは、地域の雇用促進を目的に総務省より提言されたもので、毛呂山町では、子どもをもつ町内の主婦を授業の補助を行うICT支援員として雇用し、毛呂山小学校と川角小学校にiPadと電子黒板を配置して授業を行っている。iPadは、両校の3学年（毛呂山小4・5・6年、川角小2・3・5年）の児童1人に1台割り当てられ、九九や漢字の練習、インターネットに接続しての調べ学習などを行っている。児童は、手元のiPadと電子黒板で視覚を使いながら、様々な問題を楽しく解くことができる。



川角小学校でのiPadを使った授業



川角小学校「少人数指導」

合わせた授業を行っています。段階を踏んで丁寧に教えることで、児童が克服し、次の課題へと取り組んでいけるようにしています。そして長期休業期間前後の取組として、小学

校では、夏休み前に「学力向上教室」を行い、学んだことを総ざらいしています。わからないところを残さず、長期休業期間中の家庭学習や休み明けの授業にスムーズに取り組めるようにしています。また中学校では、夏休み明け前に「サマーセミナー」を開設し、事前に申し込んだ生徒に対し、英検のための英語講座や自らの弱点を克服するための学力向上講座を行っています。

このように、学力向上支援員は、子どもたちの「学び」を助けるだけでなく、子どもたちを育てる取組のなかでも重要な役割を担っている取組のひとつといえます。

子どもたちの将来を描きながら

私は、以前航空関係の仕事をし、主に管制官や部下の教育に携わっていました。英語の教員免許は、そのときに取得をしたのですが、今になって役立つとは思っていませんでした。仕事でも教育に携わっていたせいか、退職後には、自分が住む地域の若い人に対する教育に携わりたいという願望がありました。そのような理由で、学力向上支援員に応募し、本年4月から川角中学校に勤めさせていただいています。

学力向上支援員として勤務をして

感じたこととして、まず中学生という時期は、実に多感な時期であるとともに溢れんばかりのエネルギーをもっているということです。授業に対して、真面目に取り組む子や集中して授業を受けられない子など、実に様々な生徒がいます。しかし、問題が解けたときや分かかったとき、ものすごく意欲が上がり、何に対しても積極的にになります。

勉強することは、高校受験のためだけではなく、その先の未来を生きていくための材



川角中学校学力向上支援員
渡邊 二男 先生

料であるといえます。大人になって幸せな人生を歩めるかどうかは、この時期の学習によって大きく変わってきます。そのために一人ひとりの将来を描きながら、なるべく考えることに重点をおいた授業をしていきたいと考え、日々取り組んでいます。

子どもたちは、地域のみならず日本のお宝といえます。そのためには私たち大人は、教育によって蒔かれた種がどのように芽吹き、花をつけるかを考えながら教えていかなければならないのです。

また、地域にはまだまだ、意欲や能力があるのに一歩踏み出せないでいる人たちがたくさんいると思います。そのような人がもっと積極的に教育の場にも参画できるようにになれば、更によい相乗効果が生まれるものと思います。

Chapter 03

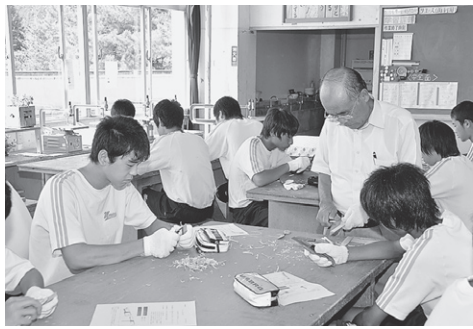
魅せる

「体験」それは何ものにもかえがたい
 貴重な経験
 子どもたちは「体験」を繰り返すことで
 さまざまなことを学んでいく

中学生体験講座

『学力向上毛呂山プラン』は、「確かな学力の向上」という主に「知」の側面において、子どもたちの成長を支えるための取組といえます。

そして、知識の習得以外で、子どもたちの成長にとって欠かすことのできないもう一つの要素が、「体験」といえます。その「体験」をす



創作竹とんぼ講座 (毛呂山中)



着付け講座 (毛呂山中)



水引き工芸講座 (毛呂山中)

るために大きな役割を果たしているのが、小・中学校をおして行われる体験学習です。体験学習は、中学校においては地域の社会人を招き、話を聞くことで学びゲストティーチャーや職業体験、保育実習、体験講座などが行われています。

特に体験講座は、生徒たちの多様な興味・関心に応じた講座を学ぶことができ、普段の学校生活ではでき

ない体験を味わえるため、たいへん好評な事業の一つです。

体験講座は、毛呂山中学校で、2年生を対象に生け花や水引き工芸、手品、映像制作など、9の講座が開かれ、川角中学校で、全学年を対象に空手やダンス、そば作り、ヨガ、太鼓など、17の講座が開かれ、それぞれの分野に精通している地域の人が主講師となっています。

体験学習が生徒たちに大きな影響を与える理由の一つとして、多種多様な専門家から学ぶことができる点が挙げられます。今まで知らなかった世界を、その分野の専門家から直接見せてもらえるため、その楽しさや難しさをより深く理解することができます。多くの「本物」に触れることで、生徒たちの世界は広がっていきます。授業とは異なる体験をとおして、自分の興味や才能に気付



茶道講座 (毛呂山中)

くことができるのです。

「できる」という体験は、勉強以外でも味わうことができます。勉強がつまらないと思っていた生徒も、新たな体験をとおして、知ることや学ぶことが楽しいと感ずることができるようになります。このような体験を通じて、生徒たちは「生きること」や「学ぶこと」の意味を考えるようになっていきます。このように体験講座は、社会とのつながりをとおして学習への動機づけを高める契機となる事業であるといえます。

Topics

社会体験チャレンジ事業

この社会体験チャレンジ事業は、体験講座とは違い中学生が、地域のなかで様々な社会体験活動や多くの人びととのふれあいをおして、みずみずしい感性や社会性、自立心などを養い、豊かに生きる力をはぐくむことを目的に行われている。

この事業の対象は、中学1年生で、毛呂山中学校、川角中学校の生徒たちが、町内にある様々な事業所に出向き、3日間仕事を体験する。事業に参加した中学生は、この体験をおして、働くことの厳しさや楽しさだけでなく、親への感謝の気持ちも養われるといわれる。



小学校での毛呂山中学校生徒の社会体験



①



②



③



④



⑤



⑥

川角中学校体験講座

- ① フラワーアレンジメント、
- ② ヒップホップダンス、
- ③ 空手道、④ 科学実験、
- ⑤ ダブルダッチ、⑥ 和太鼓

体験は、人生に幅をもたせます

昨年から、毛呂山中学校の体験講座で茶道講座を担当しています。茶道は、本来長く学んで身につけることが多いものですから、およそ2時間という短い時間に、どのように教えるようかと不安もありました。そこで、お茶の飲み方やお菓子の食べ方、お茶室の雰囲気を感じていただき、茶道そのものの雰囲気味わっていただけるように工夫をして、講座を行っています。

茶道とは、「茶室においては、和を重んじる」といった言葉に表されているように、相手の気持ちをおもなにかることがなにより大切なことです。この気持ちは今の時代に一番必要な精神であると私は思います。友達との間、家族の間で「ありがとう」という気持ちをもって、相手に接することがとても大切なことだということも学んでもらえれば、とても嬉しく思います。

このような体験講座は、子どもの時期、特に中学生にとってはとても有意義な時間であると思います。将来このような体験をしたことが、きっと何かの

役に立つときがあると思えるからです。体験することは、人生に幅をもたせます。時間に余裕があるときは、色いろなことに興味をもち、知ろうとする意欲が必要だと思います。

私は、中学生というとても大切な時期に、このような体験学習に携わることができて、幸せに感じています。生徒さんたちには、今後色いろなことに興味をもってもらい、そのなかから自分に合う何かを早いうちに見つけてもらいたいと思います。そのような何かが見つかれば、今後人生を生きていくなかで、苦勞や困難に直面したとき我慢がでるようになりますし、何より努力ができるようになるからです。



毛呂山中学校茶道講座講師

渡辺 宗俊 さん

Chapter 04

支える

地域の人たちの見守り
その温かいまなざしに見守られ
子どもたちはすくすくと
安心して成長する

小学生体験学習

小学校における、中学生の体験講座に該当するのが、学年ごとに行われる体験学習です。各小学校では、それぞれの学年で、どのような体験をすることが、子どもたちの成長により効果をもたらすかを考え、様々な取組が行われています。その内容は、町内探検隊や作物の栽培、稲作体験、芸術鑑賞、特別支援学校との交流など多岐にわたっています。

そのうちの稲作体験は、現在、川角小学校と泉野小学校で行われています。稲作体験では、まず、子どもたちは真っ黒になって田植えをします。普段ならば「汚してはいけない」といわれるところを、泥だらけになって田んぼのなかを駆けまわり、収穫のときには、皆で力を合わせて稲刈りをし、最後にその米を味

わいます。お店で何でも買える時代に、「食べ物大切に」といってもなかなか伝わらないことが多いものです。それが実際に稲作を体験することで、子どもたちは自分の頭で多くのことを考えるようになります。食べ物自分たちの手に届くまでに、誰かが育ててくれていること、それがどんなに大変かということ、農作物は天候に影響されること、採れた米を調理してくれる人がいること…。

このような体験は、子どもたちの感性を磨き、考える力を養います。そして、その支えとなっているのが地域の人たちの力なのです。子どもたちは地域の人たちに支えられ、見守られるなか成長していくのです。

学校応援団

体験学習などの学習支援以外に

子どものころの色いろな体験は、きっと将来に生きてくる



田植え・稲刈り体験指導
安川 静男 さん

泉野小学校で、田植え・稲刈りの指導をして、もう20年以上になります。稲の管理は大変ですが、子どもたちに喜んでもらおうと思い、続けてきました。近年では、水を張った田んぼでの綱引きやリレーなどを行い、子どもたちだけでなく、お手伝いをしてくれる親御さんにも楽しんでもらっています。

今は、農業に携わる人も減ってしまい、田んぼに入る体験ができるのもこのような時だけになってしまっただ人も多いと思います。しかし、子どもたちの色いろな体験は、きっと将来に生きてきます。ゆくゆくは、町内の全員の子どもが体験できるようにと思います。子どもたちには、田植えや稲刈りの体験で、米を作る苦労や収穫の喜びを学んでもらい、食べ物を大切にすることを養ってもらえたら、とても嬉しく思います。



泉野小学校「稲刈り体験」

Topics

放課後子ども教室

放課後や週末に社会教育施設など子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の人の協力で、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施している。放課後子ども教室は、子どもたちが地域社会のなかで、健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的にしている。

月4回程度、土曜日の午前10時から午後3時まで東公民館で活動している「子ども教室」と月3回程度、木曜日の午後3時から5時30分まで図書館で活動している「木曜のあそびクラブ」がある。



「木曜のあそびクラブ」でのスライム作り



毛呂山小学校学校応援団による「すくすくタイム」

も、以前から町の教育現場には多くの人たちがボランティアとして携わっていました。例えば、登下校の見守りやスクールガードなどによるパトロール、子どもを守る家、環境を整備するための植込みの剪定、除草作業、ペンキ塗り、小破修理などです。

現在、こうした家庭や地域のボランティア活動を「学校応援団」として一つにまとめる試みが進められています。PTAや保護者による学校支援も含め、志のあるすべての人の力を組織化し、学校を中心に多種多様な活動を広げていく。さらにコーディネーターと呼ばれる調整役が地

域と学校を結び、地域ごとに学校を応援するという大きな力を創り出そうとしています。

「学校応援団」は、地域が一体となって子どもの育成に取り組むことをその目的にしていますが、この取組に携わるきっかけは、決して難しいものではないのです。朝の「おはよう」、下校時の「お帰りなさい」の挨拶をすることで、子どもたちは地域から見守られているという安心感を覚え、次第に元気に挨拶ができるようになります。お礼を言えるようになります。地域に住む誰もが関わることができる子どもたちを支える運動といえるのです。



光山小学校学校応援団による「読み聞かせ」

地域の大人と接することは子どもたちにとって大切なこと

私が所属する「毛呂山ランナース」では、昨年の9月から毎週水・金曜日に毛呂山小学校のすくすくタイムで子どもたちと一緒に走っています。朝の15分程度という短い時間なのですが、一緒に走ることで、子どもたちから元気をもらっています。

この時期の子どもたちの成長は、目覚しいもので、少しの時間でも続けることで、みるみる体力が上がっていくのがわかります。私たちが育ったころとは、時代が大きく変わりましたが、いつの時代も子どもたちは、明るく元気いっぱいであることが分かります。

成長の過程である子どもたちは、大人と接することで、挨拶をするなど社会性が身につきます。地域のおじさんやおばさんと接することは、子どもたちが成長するうえでとても大切なことだと思います。



学校応援団 宮崎 実 さん

Chapter 05

信じる

子どもたちの健やかな成長は
子どもたち自身の将来へ
そして町の未来へと繋がる
子どもたちの成長は未来への希望の礎



「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力

である。と位置づけられています。すなわち知とは確かな学力の習得のこと。徳とは豊かな人間性の育成のこと。体とは健康の増進や体力の向上のことです。このような「生きる力」を育むための教育は、学校だけで行われるのではなく、学校を含めた地域全体で取り組む必要があります。子どもたちの教育には、家庭や地域の教育力と学校教育の効果的な連携が必要不可欠なのです。

しかし現在、親や友達、近所の人たちとふれあう機会が少なくなり、家庭や地域における子どもたちの居場所や心のよりのところが減りつつあります。何より教育の基本は家庭です。家庭において子どもたちは、基本的な生活習慣・生活能力の習得、健康な心身、善悪の基本となる倫

理観、道徳心、自立心、自制心など社会で生活していくうえで必要なマナーを身につけます。そして家庭は、社会の最小単位であり、地域社会の基盤になるものです。かつては家庭や地域で子どもたちを支えてきたように、地域の教育力は、家庭の教育力を支え、相互に影響しあう関係にあるといえます。



また、子どもたちが地域の大人や異年齢の子どもたちと関わる機会の減少により、様々な体験や交流をとおして自己を成長させていく環境も少なくなっています。しかし毛呂山町では、子ども会活動で地域の大人や異年齢の子どもたちと関わる経験ができます。学校応援団には様々な場所で子どもたちの成長を見守っていただいています。今、多くの人たちが地域における教育に関心を持ちつつあるのです。子どもたちにとって地域の人たちとの交流は、人間関係や集団のルール、社会性、自他の尊重、公共心、規範意識などの育成に大きく影響を及ぼします。

子どもたちが学校だけでなく、様々な場所で学び、それを見守り、支える大人がいる環境こそが、今の時代に求められる教

育の一つの形であると思います。これからの教育には、学校・家庭・地域がお互いに補充し合いながら、それぞれの力で子どもたちを支えることが必要です。それぞれが置かれた環境で子どもたちに真摯に向き合うことは、子どもたちが、健やかに逞しく成長するための手助けになります。その取組が他の誰でもない子どもたち自身の未来に繋がるものであると信じています。



毛呂山町教育委員会

高沢 佳弘 学校教育課長

かつて日本に存在した村落共同体は農村の都市化によって失われ、人間関係の希薄化、地域社会の弱体化が問題となっています。

今回、取り上げた取組は、地域に住む人たちが、自らのことができることをとおして、子どもたちの成長に寄り添う取組といえます。そのうち体験学習や学校応援団は、学校を要として、もう一度地域を再生しようという取組でもあります。皆で知恵を出し合い、話し合い、一緒に汗を流しながら様々な活動に取り組むこと。言い換えれば、「地域に住む子どもたちをどう育てていくのか」という共通の課題、目標のもとに、地域の人間関係を結びつけ、失われつつある地域の絆を再構築しようとする試みであるといえます。

それは、たとえば、近所のおじさん、おばさんが学校へ行く途中に声をかけたり、自分の子どもではないのに、学校の運動会に応援に来てくれるような、小さなかわりをも含んでいます。「地域の子どもたちを地域の人たちが育てる」という気持ちや核として、人と人とのつながりや信頼感、郷土愛によって子どもたちを育てていくことが、本来の意味での地域教育の力なのではないでしょうか。

様々な問題が山積している現代社会において、これから生きる子どもたちが健やかに成長していくためには、このような地域の力が必要です。それは、地域の誰しもが携わることのできる未来を「はぐくむ」希望の力なのです。

登校時見守り活動 (光山小学校)



特集 「はぐくむ」

— 未来を紡ぐ地域の力 — おわり

はぐく
 子どもたちに夢と希望を育み、
 生徒・地域から信頼される学校



明るく
 強く
 正しく

毛呂山小学校



- ① 知力を高める学校
- ② 美しい学校 ③ 楽しい学校
- ④ 温かい学校 ⑤ 安全な学校
- ⑥ 開かれた学校

★子どもたちに「夢と希望」を育み、保護者・地域から信頼される学校

目指す学校像

- ★正しい子
- ① 学習規律を身につけ、学ぶ意欲のあふれている子
- ② よく聞き、よく考え、いろいろな方法で問題を解決できる子
- ★強い子
- ① 健康や安全に気をつけて、進んで体を鍛えられる子
- ② 自分で目標やめあてを決め、最後まで頑張れる子

- ★明るい子
- ① 時と場に応じた元気なあいさつや言葉づかいのできる子
- ② 人に対する思いやりのある心を持って生活できる子

目指す児童像

はじめに
 毛呂山小学校の学校教育目標は「明るく強く正しく」です。



③ 校門でのあいさつ運動
 ・元気なあいさつで一日が始まります。



② サマーアートフェスティバル
 ・プロの演奏は、感動的です。



① 毛呂っ子遠足
 ・六年生がリーダーになり、みんなで協力して活動します。

実現を目指した取組

明るい子《徳》



② のぼり棒
 ・腕力をつけるために新しく作りました。(PTA寄贈)



① すぐすぐタイム
 ・地域の人や保護者も参加する朝の体力作りです。

強い子《体》

⑥ 無言清掃
 ・一生懸命に掃除をすると、おしゃべりが無くなります。



④ お話タイム、読書タイム
 ・読書量が増えました。
 ⑤ 靴のかかと揃え
 ・かかたを揃えることは、心を揃えることです。

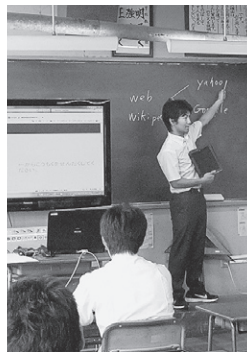
終わりに
 物事の判断基準は「毛呂山小学校の児童を育てるうえで是非か」。教職員一致団結して努力していきます。

④ のびよ毛呂っ子
 ・家庭学習の習慣化を目指します。9月から「もろ丸くん学習ノート」を活用しています。

学校応援団との連携・協力

③ 毛呂小メソッド
 ・話し方・聞き方のルールを定め、学習規律の確立に努めます。また、「せ・め・て」の合い言葉で聞く態度を育てます。

② ワクワクチャレンジタイム
 ・毎週木曜日の朝、国語や算数の学力アップを図ります。



正しい子《知》
 ① ICTの活用
 ・iPadなどの効果的な活用について研修中です。

児童館へ行こう

☎(295)4111

11月の休館日

毎週日・月曜日、3日(祝)、23日(祝)

■ぴよんぴよん広場クリスマス会

- 日時** 12月14日(水)
午前10時30分～11時30分
- 対象** 9月以降のぴよんぴよん広場に3回以上参加した2歳前後の幼児とその保護者
- 内容** パネルシアター、リズムで遊ぼう、工作、サンタクロースともろ丸くん登場
- 持ち物** 親子とも上履き
- 申込み** 12月7日(水) 午後5時までに児童館へお申し込みください。

■遊びにおいでよ！ぴよんぴよん広場

- 日時** 11月2日(水)、16日(水)、30日(水)
午前10時30分～11時30分
- 対象** 2歳前後の幼児とその保護者
- 内容** 体操・工作など(申込み不要)
- 持ち物** 親子とも上履き



■父親クラブ スポーツゲームに挑戦！

～楽しく体を動かそう！～

- 日時** 11月26日(土)
午前9時30分～11時30分
- 場所** 児童館前広場(雨天の場合、児童館内)
- 対象** 幼児、小学生とその父親(家族で参加も大歓迎です)
- 内容** ミニサッカーゲーム
- 定員** 先着10組
- 参加費** 1人50円(保険代他)
※お釣りのないようお願いします。
- 持ち物** タオル、飲み物、お碗、箸
- 申込み** 11月19日(土) までに参加費を添えて児童館へお申し込みください。
- ※当日は、運動のできる服装でご参加ください。豚汁を用意してお待ちしています。

図書館へ行こう

☎(295)1015

11月の休館日

毎週月曜日、3日(祝)、24日(木)、30日(水)

貸出点数(貸出期限)

- 図書・雑誌・紙芝居など/1人10点まで(3週間)
ビデオ・CD・DVD・カセット/1人5点まで(2週間)

■「切り絵講座」～来年の年賀状をつくる(干支・辰)～

- 全3回で、切り絵の基本から学び、自分がデザインした来年の年賀状(干支・辰)をつくりまします。
- 日時** 11月10日(木)、17日(木)、12月1日(木)
午前10時～正午 ※全3回
- 場所** 図書館2階視聴覚室
- 定員** 先着20人
- 対象** 町内在住・在勤の人(中学生以上)
- 講師** 都所 壮さん(毛呂山町歴史民俗資料館サポーター)
- 申込み** 10月26日(水) 午前10時から受付(電話可)

ほくらのキャンパス

353 毛呂山小学校



2年 有山 幸毅くん



「光のがったい」



「たのしいあさがお
らんど」



1年 宮寺 佑欣さん



3年 三上 菜月さん



「クラスレクでドッジ
ボールをして遊んだよ」

■子ども映画会

- 日時** 11月12日(土)
午後2時～3時40分
- 定員** 先着50人
- 内容** 「カーズ」
マックイーンは身勝手な性格の若き天才レーサー。そんな彼が田舎町の個性的な住民と出会い変わっていく。

■おはなし会

- 日時** 11月26日(土)
午後2時～2時30分
- 内容** おはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居など
- 対象** 1歳から小学生まで。小さなお子さんは、保護者同伴でご参加ください。

■本の紹介

- 「静かなる旅人」ファビエンヌ・ヴェルディエ/著
野口 園子/訳 静山社/出版
- 「書」や水墨画の世界に惹かれて、文化大革命後の中国に単身留学した若きフランス人女性。情熱のままに異文化に飛び込み、様々な困難に直面する。中国社会の現実に翻弄されながらも、不屈の精神で「美」を追求した半生を描いた自伝



わだいの特選

wadai-no tokusen CAMERA REPORT

ス 町民レクリエーション大会 スポーツの秋を楽しむ1日に!

10月2日、毛呂山総合公園グラウンドで『第44回町民レクリエーション大会』が開催されました。参加した人たちは真剣に、力いっぱいリレーや綱引きなどの競技に挑みました。爽やかな汗を流しながら、スポーツの秋を楽しむ1日となりました。

なお、主な結果は下記のとおりです。



種目	優勝地区
綱引きA	西戸・箕和田・東原団地・目白台自治会
綱引きB	大谷木・葛貴・権現堂・宿谷
年代別リレー	角木団地・日化団地
玉入れ	阿諏訪・滝ノ入
子ども会リレー	目白台子ども会A

カ ボランティアによる交通安全 カーブミラーがきれいになりました

9月4日、建設埼玉毛呂越生支部の皆さんが、町内の交差点などに設置してあるカーブミラー253基を清掃するボランティア活動を行いました。清掃は、ひとつひとつ手作業で行われました。

交通安全のために重要な役割を持つカーブミラー。車を運転する人からは、「とても見やすくなった」と感謝の声が寄せられています。



海 第2回海の子体験クラブ の魅力を満喫!

8月16日～18日、静岡県伊東市川奈港で毛呂山町子ども会育成会連絡協議会主催の「第2回海の子体験クラブ」が行われました。参加した子どもたちは、海水浴やシュノーケリングで思い切り遊んだり、漁船に体験乗船をしたりと海の魅力を満喫した3日間でした。また地元漁師さんの協力で獲れたての魚やサザエ、イカなどをバーベキューで楽しむなど、普段の生活では経験できないさまざまな体験をしました。

なお、この企画は、来年度以降も続けられ、海のない県で育った子どもたちに、海のすばらしさを体験してもらう予定です。



心 西入間地区警察署管内少年柔道大会 身ともに、真剣勝負!!



9月23日、西入間地区警察署管内少年柔道大会が武蔵越生高等学校柔道場で開催されました。この大会には、小学生と中学生およそ100人が参加し、日ごろの練習の成果を競い合いました。

毛呂山町からは、毛呂山柔道会が参加し、優勝者2人を出すなど、大活躍しました。



キラキラ輝いてます！

—東日本大震災復興支援ボランティア編—

自分たちに、今できることを無理なく続けていきたい

TOMO&STEKY とももすてきい
くともこ支えられてく

裁縫さいほうで被災地を応援

きっかけは袖口カバー50個

TOMO&STEKYは、裁縫仲間9人の頭文字を組み合わせた名称で森澤美智子さんが代表を務める。「ともに支えられて」というキャッチフレーズがあり、「友だち」のとも、「共に」とのとも、「支えられて」はお互いさまという意味だ。主な活動は、袖口カバーやボトルカバーなどの手づくり品を被災地に届けること。1000人分を目標に活動している、役場の先遣隊せんけんたいや町社会福祉協議会のツアーなどを通じて、今までに700人分を被災地に届けている。

今年の2月11日に森澤さんの娘家族が岩手県盛岡市に引っ越した。その矢先、東日本大震災が発生したため、4月27日の花巻空港行きチケットをどうにか入手した。行くにあたり森澤さんは、以前から便利に使っていた袖口カバーを持参することにし、裁縫仲間6人に声をかけて出発前夜まで作業を続け、50個を仕上げた。

「4月28日に盛岡市災害ボランティアセンターに袖口カバーを持参して、課長さんに直接手渡すことができました。課長さんは、『あーっ。埼玉から手づくりの品物をありがとうございます』と喜んでくれました」と森澤さんは笑顔で話す。5月7日に毛呂山町に戻り、裁縫仲間に被災地の現状を話すと、裁縫で被災地を応援しようということになり、TOMO&STEKYが発足したという。

2人のボランティア体験

森澤さんは、5月5日に岩手県野田村（久慈市に隣接）に行っている。「被災地は、家などが何も無く、

車はひっくり返り、船は陸地の奥まで流されていました。私は、体育館で被災者家族の必要品を支援物資の箱から探す作業を行ったのですが、少しでも被災された人の力になりたいという思いから夢中で作業してしまい、『ボランティアは絶対に無理をしてはいけない』という現地責任者の言葉の意味を身をもって理解することになってしまいました」と話してくれた。

仲間のひとり小高イツ子さんは、森澤さんと一緒に7月2日の町社会福祉協議会主催のツアーがれきてつぎまに参加し、福島県いわき市で瓦礫撤去のボランティアを行っている。

「うわあー。これ一日で片付けるの？ がんばらなくちゃ」と思い、一生懸命作業した小高さん。作業中



福島県いわき市での瓦礫撤去作業

無理なく続けることが大切

「私たちは、被災地に行つてボランティアはできなくても好きな裁縫で支援しよう。手づくり小物品を届けようと『1000人分を目標』に4月から活動しています。今では輪も広がり材料などを寄附してくれる方がたを含め20人以上の協力のおかげで、ともに支えられています。これからも『自分たちにできることを無理なく行うボランティア』を合言葉に、自宅でできる被災地支援を楽しみながら続けていきたいと思います」と森澤さんと小高さんは話してくれた。

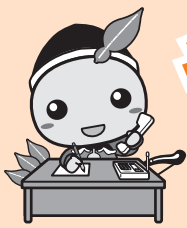


救援物資が置かれている岩手県野田村の体育館

「私たちは、被災地に行つてボランティアはできなくても好きな裁縫で支援しよう。手づくり小物品を届けようと『1000人分を目標』に4月から活動しています。今では輪も広がり材料などを寄附してくれる方がたを含め20人以上の協力のおかげで、ともに支えられています。これからも『自分たちにできることを無理なく行うボランティア』を合言葉に、自宅でできる被災地支援を楽しみながら続けていきたいと思います」と森澤さんと小高さんは話してくれた。



TOMO&STEKYのメンバーとサポーターの皆さん
今回、話をうかがった森澤美智子さん（最後列右から3人目）
小高イツ子さん（〃 右端）



やくばの仕事をご紹介します②



子ども課 木村 春夫 課長



子ども課では、こども医療費の助成や子ども手当の支給、児童の虐待に関する事務をはじめ、保育所への入所相談、手続きなど、子育て支援に関する事務を行っています。
子どもが健やかに育ち、未来を担う子どもの幸せを第一に考え、子育て家庭の応援や安心して子どもを産み育てることができ

きる環境づくりに取り組み、子どもや親の立場にたった親切・丁寧な窓口対応に努めています。

保育係 保育所の入退所、保育所の運営・指導、保育料の徴収、家庭保育室に関する事など。

児童係 こども医療費・ひとり親医療費の助成、子ども手当の支給、児童扶養手当の申請、児童虐待防止に関することのほか、家庭・児童に関する相談など。

子育て支援係 子育て支援に関する企画・調整、児童館・学童保育所に関する事など。

税務課 川村 和男 課長



税務課では、町税および国民健康保険税の賦課徴収事務、所得に関する証明書などの各種証明書の発行を行っています。また、毎年、確定申告などの申告受付も行っていきます。複雑な税の仕組みについて公平性・信頼性をご理解いただけるよう、わかりやすい説明を心がけています。

納税係 納税思想の普及啓発。各税の徴収に関する事。町税の滞納処分に關する事。納税証明書の発行。
町民税課係 個人・法人町民税、軽自動車税および国民健康保険税などの賦課に関する事。各税の申告指導に関する事。所得に関する証明書の発行。

資産税課係 固定資産の評価に関する事。固定資産税、都市計画税の賦課に関する事。資産に関する証明書の発行。

産業振興課 岩田 正彦 課長 農業委員会 事務局長



産業振興課では、「元気に仕事ができるまちづくり」をモットーに、農林・畜産業、観光、商工業の振興・支援に関する事務を行っています。
また、農業委員会では、農地法にもとづく業務を行い、迅速で的確な窓口・現場対応に努めています。

農林係 農業生産基盤の整備・維持管理、優良農地の保全と有効活用、農業後継者の育成、森林の保全に関する事。

商工観光係 商店街の活性化に関する事。観光施設の整備、町観光協会等への支援、観光パンフレットの作成、特産品の開発・PRに関する事。もろ丸くんに関する事など。

農業委員会 農地法にもとづく許認可などの法令業務。農地の利用関係についての斡旋など。

まちづくり整備課 岡野 昭弘 課長



まちづくり整備課では、皆さんが日ごろ使っている道路の整備や維持修繕、境界の管理などを行っています。また、良好なまちづくりのために、計画的な土地利用についての相談や指導を行っています。道路の修繕などの要望に対しては、迅速に、土地利用などの相談には、正確・公正に対応いたします。

都市計画係 都市計画の企画・調査・決定に関する事。都市景観や屋外広告物に関する事。

開発建築係 開発の許可や建築の相談に関する事。建築物の耐震改修に関する事。

都市整備係 武州長瀬駅北口周辺地区および、その他都市施設の整備に関する事。

道路管理係 道水路の境界や占用に関する事。土地台帳・地籍図(公図)・道路台帳の整備保管に関する事。

道路工務係 道路の改修・舗装・側溝の工事および、道路の破損・危険箇所などの修繕に関する事。

子ども手当の認定請求を受け付けはじめるよ！

子ども手当の支給要件が変更となりました

特別措置法により平成23年10月分から平成24年3月分まで、子ども手当が支給されることとなります。子ども手当は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに支給されます。

認定請求の受付方法

特別措置法においては、これまで子ども手当を受給していた人も含め、支給要件に該当する全ての人から認定請求をしていただく必要があります。

※10月以降、支給要件該当者に対しては、既に認定請求の手続きについてのご案内を送付しています。お早めに手続きされるようお願いいたします。

【注意事項】

認定請求の期間については、特別措置法により猶予期間を設けており、施行日において既に支給要件該当者については、平成24年3月31日までに請求を行えば、平成23年10月の手当から受給できます。 ※振込は、申請時期により遅れる場合があります。

支給月額

- ・0歳～3歳未満 一律15,000円
- ・3歳～小学校修了前（第1子・第2子） 10,000円
- ・3歳～小学校修了前（第3子以降） 15,000円
- ・中学生 一律10,000円

支給資格者

- ・毛呂山町に住民登録または外国人登録（短期滞在者を除く）をしている人。
- ・中学校修了前（15歳到達後の最初の3月31日まで）の児童を養育している人。
- ・支給資格者は同居を優先とする。

（その他資格要件）

- ・対象児童は、日本国内に住所を有すること（留学の場合を除く）。
- ・児童養護施設などに入所し

所得制限

所得制限は設けられていません。

出産などによる手続きについて

- ・出産したとき
- ・第2子以降の出産や養育発生などにより対象児童が増えたとき
- ・振込先金融機関、口座番号を変更するとき（児童の口座は、登録できません）
- ・児童を養育しなくなったとき

必要なもの

- ・印鑑
- ・支給資格者の保険証
- ・銀行などの普通預金の口座

番号など

※支給資格者の状況により、関係書類を提出していただく場合があります。

手続きに関する注意事項

- ・子ども手当が認定された場合、認定請求をした日の属する月の翌月分から支給されます。認定請求が遅れた場合、遡って支給することができません。
- ・出生の場合は出生日の翌日から15日以内に、転入の場合は転入予定日の翌日から15日以内に申請してください。
- ・公務員（独立行政法人等勤務者を除く）は勤務先に認定請求してください。

子ども手当の寄附について

子ども手当の全部または一部の支給を受けずに、これを町に寄附して、子ども・子育て支援の事業のために活かしてほしいという人には、簡便に寄附を行うことができます。手続きもありますので、役場子ども課までお問い合わせください。

項目	(旧) 子ども手当 ※平成23年9月分まで	(新) 子ども手当（特別措置法） ※平成23年10月分から平成24年3月分まで	
	中学校修了前 （中学3年生）まで	中学校修了前 （中学3年生）まで	
支給対象児童		0歳から3才未満	一律 15,000円
支給額 （月額）	一律13,000円	3歳から 小学校修了前	第1・2子10,000円 第3子以降15,000円
		中学生	一律 10,000円
所得制限	なし	なし	

この制度については、平成24年度以降についても大幅な変更が考えられますので、随時、広報紙やホームページにてお知らせしていきます。

問 役場子ども課児童係 ☎

95-2112内線113、114

インフォメーション

毛呂山町役場

☎ (295) 2112
FAX (295) 0771

公共施設電話案内

■中央公民館	☎ (294) 1250
■東公民館	☎ (295) 2277
■歴史民俗資料館	☎ (295) 8282 FAX (295) 8297
■総合公園体育館	☎ (294) 7179
■福祉会館 (社会福祉協議会)	☎ (295) 3111 FAX (295) 7258
■保健センター	☎ (294) 5511

日……日	時	場……場	所
定……定	員	対……対	象者
料……料	金・費用	問……問	合せ先
申……申	込み	☎……☎	電話番号
FAX……FAX	番号	☎……☎	ファクス番号
e……e	メールアドレス	HP……HP	ホームページアドレス

毎月末の日曜日は
納税・納入窓口を開設しています

税金

休日納税窓口 11月27日(日)
午前9時～午後3時
場・問 役場税務課納税係
☎内線193・194

介護保険料

・後期高齢者医療保険料

休日納入窓口 11月27日(日)
午前9時～午後3時
内容 保険料の納入、口座振替の申込み(通帳と銀行届出印が必要)、納入相談
場・問 役場高齢者支援課保険料係
☎内線158・159

お知らせ

学童保育所『入所説明会』のお知らせ

学童保育所では、次の日程で平成24年度の入所説明会を行います。

※保育室も用意しています。
日 11月4日(金)午後7時30分
から

場 東公民館会議室

問 岩井学童保育わんぱくクラブ(毛呂山小通学児童)

☎295-1082、泉野学童保育わんぱくクラブ

(泉野小通学児童) ☎29

5-5632、川角学童保

育わんぱくクラブ(川角小

光山小通学児童) ☎295

平成24年版埼玉県民手帳を販売しています

—5084

県や市町村の各種統計、行政機関一覧、鉄道マップ、生活情報など埼玉に関する便利な情報を豊富に掲載している県民手帳を販売しています。

販売期間 12月22日(木)まで

価格 500円(税込み)

サイズ 14×8.5センチメートル

種類 黒(月間予定表部分横

野式)、グレイッシュブルー

(月間予定表部分升目式)

販売場所・問 役場企画財政

課企画係 ☎内線323

町立保育園『園庭開放』

園庭を開放します。ぜひ遊

びください。

日にち 11月7日(月)▽旭台保

育園、14日(月)▽若草保育園、

21日(月)▽上町保育園

時間 午前10時～11時

場 町立各保育園

内容 園庭での自由遊び(雨

天時はホールで遊びます)

対 未就園児の親子

問 旭台保育園 ☎294-0

857、若草保育園 ☎29

4-4820、上町保育園

☎294-6066

高齢者総合計画推進会議を公開します

高齢者総合計画推進会議では、第5期毛呂山町高齢者総合計画の見直しについての審議を行っています。この会議の傍聴および会議の議事録を

閲覧することができます。

傍聴については、人数に限りがありますので、事前にお

問い合わせください。

日 11月29日(火)午後1時30分

から

場 役場204会議室

問 役場高齢者支援課高齢者

福祉係 ☎内線118

普通救命講習会

日にち 12月11日(日)午前9時

～正午

場 西入間広域消防組合消防

署

定 先着20人

受講料 200円(テキスト

代含む)

申・問 11月1日(火)から30日

宛までに、消防署 ☎295

10178に申込み。

※講習終了後、修了証を交付します。

**平成23年分年末調整
説明会開催のお知らせ**

川越税務署では、管内の源泉徴収義務者を対象に、平成23年分源泉所得税の年末調整説明会を開催します。なお、どの会場でも受講できます。

平成23年分年末調整説明会日程表

開催月日	開催場所	開催時間
11月16日(水)	三芳町文化会館コピスみよし (三芳町大字藤久保1100-1)	14:00~ 16:00
11月17日(木)	川越市市民会館 (川越市郭町1-18-7)	
11月21日(月)	坂戸市文化会館 (坂戸市元町17-1)	

※各会場とも駐車場が狭いため、来場にはなるべく電車・バスなどをご利用ください。

川越税務署法人課税第2部門 ☎235-9411
(自動音声2番を選択)

**青色申告決算説明会
お知らせ**

川越税務署では、青色申告者に対する決算説明会を次の日程により開催します。

青色申告決算説明会日程表

開催月日	開催場所	開催時間	内容
12月5日(月)	毛呂山町福祉会館 (岩井西5-16-1)	13:30~	事業所得者
12月9日(金)	坂戸市文化会館 (坂戸市元町17-1)	13:30~	
12月12日(月)	川越市市民会館 (川越市郭町1-18-7)	13:30~	不動産所得者

※各会場とも駐車場が狭いため、来場にはなるべく電車・バスなどをご利用ください。

川越税務署個人課税第1部門 ☎235-9411
(自動音声2番を選択)

『川越市場まつり(がんばろう東北復興支援)』

11月23日(祝)午前8時~正午(商品が売切れ次第終了)

場 埼玉県総合地方卸売市場(川越市大袋650)

内容 青果物・水産物などの販売、マグロの解体ショー、和太鼓演奏、輪投げ、模擬店、抽選会など

埼玉県総合地方卸売市場 ☎240-2246

**西入間支部・消防署連
合特別点検のお知らせ**

連合特別点検のため、演習

招集サイレンを吹鳴します。火災のサイレンと似ていますが、お間違えのないようご協力をお願いします。

11月6日(日)(サイレン吹鳴)午前6時、式典開始/午後1時から

式典会場 泉野小学校

西入間広域消防組合消防本部 ☎295-0119

リブラ川角「再生品販売会」予約販売のお知らせ

川角リサイクルプラザでは、毎月第2・4木曜日に「再生品販売会」を開催し、多くの人に利用していただいています。当日の混雑緩和と安全確保のため、見学时に販売品の事前予約ができるようになりましたのでお知らせします。

対象品 展示中の販売品
条件 次の再生品販売会の午後1時から4時の間に支払搬出できる人

予約可能点数 一家族(一団)につき1件のみ

予約受付期間 販売日翌日から次の販売日の前日(水曜日)まで

予約受付時間 午前9時から11時30分まで、午後1時から3時まで

申・問 川角リサイクルプラザ ☎294-4115



**レインボーまつり
in川越**

ゆるキャラ®もご当地グルメも勢ぞろい

川越都市圏まちづくり協議会(レインボー協議会)によるまつりを開催します。

構成市町のゆるキャラ®が勢ぞろいし、ご当地グルメの出店や記念品の無料配布(先着順)があります。また、NHK連続テレビ小説「つばさ」でおなじみの脇知弘さんもゲストとして登場します。

11月19日(土)午前10時~午後2時30分(オープニング和太鼓演奏午前9時40分から・雨天決行)

埼玉県総合地方卸売市場 駐車場(川越市大袋650) 川越市政策企画課 ☎224-8811 内線2114

ご寄附ありがとうございました
▽教育基金として

5000円
西入間モラロジー事務所様

募集します

デイサービスセンター 臨時職員募集

職種 看護職員

応募資格 看護師または准看護師の資格を有する人（要普通自動車免許）

勤務内容 利用者の健康管理
バイタルチェックなど

勤務時間 月～土曜日（週2日）午前9時15分～午後4時30分

勤務場所 毛呂山町デイサービスセンター（川角303-3）

賃金 時給1400円

採用予定日 11月中旬

応募方法 11月7日（月）までに履歴書（写真貼付）および資格証明書の写しを社会福祉協議会（福祉会館内）に提出してください。

問 社会福祉協議会 ☎295-3111、☎295-7258

相続・遺言書セミナー 参加者募集

場 11月11日（金）午後2時～4時
福祉会館第3会議室

定 先着30人

内容 ①相続税の基礎知識（財産評価、相続税の計算、相続税の申告と納付など）

②遺言のすすめ（遺言の基本原則、遺言書の種類とメリット・デメリットなど）

講師 税理士・行政書士 星 亘さん

料 無料

後援 毛呂山町

申・問 星 亘行政書士事務所
☎0493-24-2497、☎0493-22-3691に申込み

「昔の遊び」を教える ボランティア募集

東公民館では、昔の遊びの体験と、お年寄り子どもたちの交流事業として「ふれあい東公民館く昔の遊びをやってみよう／＼」を、12月10日（土）に実施します。そこで、こま回しやお手玉、折り紙、竹馬などの昔の遊びを教えられる人（年齢等不問）を募集します。子どもたちと楽しいひとときを過ごしてみませんか。ご協力いただける人は、事前の話し合いにお越しください。

話し合いの日時 11月11日（金）

福祉会館の愛称を募集！

問 毛呂山町福祉会館 ☎（295）3111
e kaikan@town.moroyama.saitama.jp

福祉会館では、さらに皆さんに親しまれる施設となるよう愛称を募集します。

応募方法

- 町内公共施設に備え付けの応募用紙に必要事項を記入して応募
- インターネット・電子メールによる応募
- 官製はがきで応募（①愛称名1つ（フリガナも記入）、②愛称名の由来、③氏名、④住所、⑤電話番号を記入し（〒350-0465 毛呂山町岩井西5-16-1 毛呂山町福祉会館）に申込み

※個人情報愛称募集のみに使用します。

応募締切り 平成24年1月10日（火）必着
選考方法等 選考委員会で選考し、採用された人（応募者多数の場合は抽選）1人に記念品をお送りします。

※愛称の使用は、平成24年4月からの予定です。

第1回 もろやま素人そば打ちコンテスト

問 毛呂山町観光協会（役場産業振興課内） ☎（295）2112 内線175

日時 12月11日（日）午前10時～

会場 中央公民館

内容 そば打ちにおける、味・手際よさ・衛生面について審査します。

参加資格 そば打ち愛好者で、そば打ちを職業としていない人。

参加費用 1,000円（材料・保険代金）

応募方法 住所、氏名、年齢、職業、そば打ち歴を上記連絡先に電話にてご応募ください。

応募定員 総数を先着10人とします。

注意事項 そば粉は毛呂山産のそば粉を主催者が用意し、事前に試し打ち用の粉をお渡しします。そば打ち道具一式については原則として主催者が用意しますが、普段使い慣れた道具を持参していただいても結構です（ただし、半自動送りそば包丁などの補助道具は禁止します）。割烹着、帽子などは各自で用意してください。そば打ちの方法や粉の配合は自由です。また、つゆについては、参加者がご用意ください。

受付 10月31日（月）午前8時30分から11月11日（金）午後5時まで

午後1時30分から
話し合いの場所 東公民館会
議室
東公民館 ☎ 295-22
77

ご相談を

『子どもの発達障害相談会』

子育て支援室では、子どもの発達に関する専門の知識を持った職員が、子育てに関する相談や支援を行います。

日 11月16日(水)午前10時から正午まで

場 東公民館子育て支援室 ※申込み不要。直接会場へ。

問 役場子ども課子育て支援係 ☎ 内線139

全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間

日 11月14日(月)～20日(日)午前8時30分～午後7時

※ただし、19日(土)、20日(日)は午前10時から午後5時まで

電話番号 ☎ 0570-070-810

相談担当者 法務局職員、埼玉県人権擁護委員連合会男女共同参画社会推進委員が

対応します。秘密は厳守し

ます。
さいたま地方法務局人権擁護課 ☎ 048-863-9589

全国一斉労働トラブル110番

日 11月23日(祝)午前10時～午後4時

相談方法 電話相談 ☎ 048-872-8055 (当日のみ通話可)

料 無料

相談例 ①会社が赤字なのか給料が遅れている。②残業手当を支払ってもらえない。

問 埼玉司法書士会事務局 ☎ 048-863-7861

入間西障害者相談支援センター出張相談

日 11月9日(水)午前10時～正午

場 役場相談室

対 障害(身体・知的・精神)のある人やその家族

相談内容 生活上の諸問題など

※申込み不要。直接会場へお越しください。

問 役場福祉課障害福祉係 ☎ 内線116・117、FAX 295-2126

使い捨てライターは正しく捨てましょう!

不要になったプラスチック製の使い捨てライターは、必ず使い切ってから「燃やせるごみ」に出してください。ガスが残っているまま、ごみに出してしまうと、ごみ収集車の火災事故などの原因になりかねません。ガスが残っている場合は、必ず次の手順によりガスを抜いてからごみに出してください。

○ガスの抜き方

①周囲に火の気のないことを確認する。②操作レバーを押し下げ、着火した場合は吹き消す。③輪ゴムや粘着力の強いテープで、押し下げたままのレバーを固定する。「シュー」という音が聞こえれば、ガスが噴出している(聞こえない場合は炎調整レバーをプラス方向いっぱい動かす)。④この状態のまま付近に火の気のない、風通しのよい屋外に半日から1日置く。⑤念のため着火操作をして、火が着かなければガス抜きは終了です。

問 埼玉西部環境保全組合高倉クリーンセンター ☎ 271-1500、川角リサイクルプラザ ☎ 294-4115

借金の返済でお悩みの方へ

関東財務局では無料の多重債務者向け相談窓口を常設しています。秘密厳守で専門相談員が相談に応じます。一人で悩まず、まずはお電話ください。

受付時間 平日午前9時～正午、午後1時～5時

問 財務省関東財務局多重債務相談窓口 ☎ 048-600-1113

税を考える週間
11月11日(金)～17日(木)は税を
考える週間です。

東日本大震災復興支援事業

ぬいぐるみ人形ミュージカル

問 毛呂山町福祉会館 ☎ (295) 3111

日にち 平成24年 **1月22日(日)**

時間 午前の部：午前10時30分開場
午前11時開演
午後の部：午後1時30分開場
午後2時開演

内容 公演プログラム
第1部 人形劇「アルプスの少女ハイジ」
第2部 「お姉さんと遊ぼう」
第3部 人形劇「それゆけピーターパン」

会場 福祉会館ホール ※全席自由

チケット 大人 前売り/800円 当日/900円
子ども 前売り/500円 当日/600円
(3歳～小学6年生まで)

チケットの発売 11月7日(月)午前9時発売開始

チケット取扱い 福祉会館

ご参加を

「解説 毛呂山町の歴史」
参加者募集

最近の研究で明らかになった毛呂山町の歴史を、昨年10月に刊行された『新毛呂山町史』から解き明かします。
第4回 「毛呂山町の板碑」
発掘される板碑」

11月27日(日)午後1時30分
～3時30分

歴史民俗資料館
講師 歴史民俗資料館長

定 先着50人

※『新毛呂山町史』をお持ちの人はご持参ください。

共催 毛呂山郷土史研究会、町史研究会

申・問 11月26日(土)までに歴史民俗資料館 ☎295-8282 に申込み

郷土歴史講座
「鎌倉武士の合戦と騎射」

鎌倉武士の合戦の実像について学びます。

11月20日(日)午後1時30分
～3時30分

歴史民俗資料館
講師 川合康さん(日本大学)

教授) 定 先着40人
申・問 11月18日(金)までに歴史民俗資料館 ☎295-8282 に申込み

「歌声講座」

アコーデオンの乗せてうたう、懐かしい歌声喫茶のような講座です。

11月29日(火)午後1時30分
～3時30分

東公民館コミュニティルームゆす

内容 声を合わせて歌をうたう
町内在住・在勤者

定 先着30人

講師 中山英雄さん

参加費 200円(飲み物代)

申・問 10月28日(金)午前9時から東公民館 ☎295-2277 に申込み(電話・電子申請可)

「乳製品をつかった料理教室」参加者募集!

健康づくりのために、毎日の食卓に牛乳や乳製品を取り入れて、カルシウム不足を改善してみませんか。

11月1日(火)午前9時30分
～正午

保健センター2階栄養指

導室 定 先着20人
持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾、ふきん2枚、マスク
料 1人200円(材料代など)

「毛呂山町食生活改善推進員、保健センター管理栄養士」

講師 毛呂山町食生活改善推進員、保健センター管理栄養士

申・問 10月31日(月)までに保健センター ☎294-5511 に申込み(電話・電子申請可)

グラウンドゴルフ大会

11月20日(日)午前9時～正午(受付/午前9時から、開会式/午前9時30分) ※小雨決行

場 大類グラウンド(予定)

対 一般(小学5年生以上)

持ち物 飲み物

定 先着80人

申・問 11月14日(月)までに教育委員会生涯学習課スポーツ振興係 ☎内線523 に申込み(電話可)

町内バレーボール大会

12月11日(日)午前8時～午後4時(受付/午前8時から、開会式/午前8時30分)
総合公園体育館

持ち物 飲み物、風食
チーム編成 地区単位(複数地区合同での編成可)または事業所単位とし、同一地区または事業所から複数参加可。構成は、35歳以上の男子が3人、25歳以上の女子が6人の9人制

「家族介護教室のお知らせ」

11月18日(金)までに教育委員会生涯学習課スポーツ振興係 ☎内線523、☎295-3939 に申し込み(電話・ファクス可)

特別養護老人ホームなな

地域包括支援センターななふく苑支所では、高齢者を介

護しているご家族や介護に興味のある人を対象に介護教室を開催します。
11月12日(土)午前10時～11時45分

特別養護老人ホームなな

ふく苑(西大久保766-1) 内容 認知症を学び、正しく理解しよう

料 無料
定 30人

※手話通訳・要約筆記が付き

特別養護老人ホームななふく苑 ☎276-5311、☎276-5315 白根、平山

住宅用火災警報器は設置しましたか?

問 西入間広域消防組合予防課 ☎(295) 0163

今年の6月1日から、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置することが全国で義務化されました。全国では5年連続して住宅火災による死者が1000人を超え、6割が「逃げ遅れ」によるもので、そのほとんどが65歳以上の高齢者となっています。

消防組合では火災による犠牲者を減少させるため、消防職員による戸別訪問を実施し、管内全世帯で設置していただくよう説明にうかがっていますので、ご理解ご協力をお願いします。なお、訪問時には住宅用火災警報器の販売などは行っていません。悪質業者による訪問販売には十分注意してください。



**演奏会 『中村香奈子が
ご案内する横笛の世界』**

♪竹笛の音から感じる
日本のこころ♪

日 12月4日(日)開場／午後1時30分、開演／午後2時(午後3時15分終演予定)
出演 中村香奈子さん(雅楽・横笛演奏家)

場 図書館2階視聴覚室
定 先着70人

対 町内在住・在勤の人
内容 龍笛・高麗笛・正倉院御物復元の横笛・拜簫・しの笛など、いろいろな笛の音色をお楽しみいただけます。

申・問 11月1日(火)午前10時から図書館☎295-1015で受付(電話可)
シルバー・ドライバー・ドック

高齢運転者再教育を実施します。この機会に、運転技術や運転マナーを再確認してみませんか。

日 11月9日(水)、23日(例)午後1時30分～4時30分(※午後1時15分までにお集まりください)

場 おこせ自動車学校
対 65歳以上の人

定 おおむね5人～10人
持ち物 運転免許証
料 無料

申・問 実施日の7日前までに、役場生活環境課交通防犯係☎内線213に申込み(電話可)

町民卓球大会(ダブルス)のお知らせ

日 11月27日(日)午前9時開会
場 総合公園体育館

種目 男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス(男女の試合終了後、希望者間の抽選にて実施)

試合方法 リーグ戦を行い上位グループ、下位グループに分けてのトーナメント方式11本5ゲームマッチ(使用球▽硬式40ミリメートル白ボール)
料 1チーム1000円(試合当日に集金)、混合ダブルスも同様

参加資格 町内在住・在勤・在学の人または毛呂山町卓球連盟に加盟の人(審判ができること)

申込方法 郵送の場合▽封筒に「卓球試合申込み」を表記し、用紙に男女別を記入(形式は特になし。個人でない場合は実力順で記入)、

ファックスの場合▽種目・男女別を記入(形式は特になし)して左記へ、電話の場合▽種目・男女別を左記へ

申・問 11月11日(金)までに体育協会事務局(〒350-0452毛呂山町大谷木443)☎294-7101、
FAX 294-7106に申込み(月曜日を除く午前9時から午後5時)

商工会青年部のクリスマスイベント

あなたの家に
サンタがやってくる

商工会青年部員が、サンタクロースに扮してクリスマスマスイブに家庭を訪問し、お子さんに夢とプレゼントを届けます。

訪問日時 12月24日(土)午後7時～9時ごろ

内容 プレゼントのお届け訪問

応募資格 町内在住で未就学児のいる家庭

訪問件数 100家庭(応募者多数の場合は抽選)

※レディースサンタ役の女性も募集しています。

申・問 12月1日(日)午後5時までに、毛呂山町商工会☎294-1545に申込み

もろ丸くんぬいぐるみとストラップを販売

問 毛呂山町観光協会(役場産業振興課内)
☎(295)2112内線175

毛呂山町観光協会では、町のマスコットキャラクター「もろ丸くん」のぬいぐるみとストラップを製作し、販売します。ただし、数に限りがありますので、無くなり次第終了します。

- ぬいぐるみ
価格 1,500円
高さ 約26センチメートル
- ストラップ
価格 300円



販売日 11月1日(火)から
販売場所 役場産業振興課
※11月1日(火)のみ役場庁舎中庭で販売します。



副町長に小山格氏が就任



町議会9月定例会で副町長を小山格氏とする同意がなされ、10月1日に小山格氏が新副町長に就任しました。

教育長に栗田博氏が就任



小山格教育長の退任にともない、町議会9月定例会で教育委員を栗田博氏とする同意がなされ、教育委員会10月臨時会で教育長に任命され、10月1日に栗田博氏が新教育長に就任しました。

情報交換

写真サークル『毛呂写親の会』作品展

第8回作品展を次のとおり開催します。会員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

日／11月25日(金)～27日(日)午前10時～午後5時(27日は午後4時まで) 場／東公民館 問／☎294-9381 福田

『第10回毛呂山写真愛好者作品展』作品募集

毛呂山写真愛好者作品展実行委員会では、写真愛好者の親睦と、写真技術の向上を目的として、第10回毛呂山写真愛好者作品展を実施します。ふるってご応募ください。

開催日時／平成24年1月7日(土)～9日(例)午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで) 場／東公民館ギャラリー 出品資格／町内在住、在勤者で15歳以上、または町内の写真団体に所属する人 出品作品

／カラー、モノクロ、デジタル作品で四つ切以上、全紙以下 出品数／1人2点以内

参加費／1人800円 応募締切り／12月9日(金) 応募先／実行委員または中央・東公民館に設置してある申込箱に投函してください。※詳しくは、中央・東公民館または町内写真店に設置してある開催要項をご覧ください。 問／実行委員長 ☎294-5121 大谷木

『バードウォッチング』のお知らせ

高麗郷の小鳥たち

日／11月13日(日)午前9時(雨天中止) 場／平沢・高麗神社付近(日高市) 集合／JR八高線高麗川駅前 料／300円 持ち物／弁当、飲み物、筆記用具、あれば双眼鏡等 問／埼玉県生態系保護協会越生支部 ☎294-2525 宮澤

『毛呂山クラシック音楽フェスティバル』

芸術の秋、午後のひとときをクラシックで♪

日／10月30日(日)午後2時開演 場／東公民館学習ホールめじろ 内容／近隣音楽愛好家によるクラシック演奏 料／無料 後援／毛呂山町教育委員

会 問／NPO法人ミュージックファウンデーション ☎295-0919 新井

『越華祭』のお知らせ

例年に増して様々な企画を用意しています。

今年度は毛呂山町だけでなく、日高市の特産品も販売します。ぜひ、お気軽にお越しください。

日／10月29日(土)、30日(日)午前11時～午後3時 場／埼玉医科大学日高キャンパス ティマ／r8p 無制限の可能性 問／☎090-7203-3055 越華祭実行委員長 小島

『第2回彫刻体験教室』参加者募集

第2回目は、「版画」の基本教室を開きます。彫刻刀を握り版画を彫りましょう。来年の「年賀はがき」を制作する計画です。ぜひ、お友達をお誘いのうえ、ご参加ください。

日／11月26日(土)午後1時～5時 対／小学生から大人まで 年齢は問いません 定／10人 料／2000円(材料代・工具代) 持ち物／特になし 場／三和タジマ(株)埼玉

第4回ゆずの里商店街『秋祭り』

問 ゆずの里商店街 ☎(294) 0018 岡部

ゆずの里商店街秋祭りを開催します。豪華ペア温泉旅行が当たる「大ピンゴゲーム大会」のほか、「願的当て大会」、「演芸大会」や、加盟店の出店もあります。ぜひ、お越しください。



※「大ピンゴゲーム大会」は加盟店で買い物をした人が参加できます。

日／11月27日(日) 時間 午前10時～午後2時 ※雨天中止 場所 毛呂本郷いちよう広場(日野屋酒店横の駐車場)

第21回 ふれあい広場

問 毛呂山町社会福祉協議会 ☎(295) 3111

福祉に対する理解と思いやりの心を育ててもらうため、「ふれあい広場」を開催します。ぜひお越しください。

期 日 11月6日(日)(小雨決行) 時間 午前10時～午後3時 場所 役場駐車場

内容 福祉体験コーナー、福祉団体活動展示、ステージ発表、バザー、模擬店 ※当日のイベント(福祉体験コーナーなど)のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。



工場(川角484) 後援／毛呂山町・毛呂山町教育委員会 申・問／☎03-5954-1631 山本、☎2944-1631 山本、☎2944

1221 西川、☎03-5954-1635 または電子メール Yamamoto-shig@sp.sanwa-ss.co.jp に申込み

ひとり親家庭のみなさんへ

問 役場子ども課児童係 ☎ (295) 2112 内線 113・114

げんきょうとど ■現況届けの提出について

ひとり親家庭等医療費を受給中の人は、平成24年の医療費の受給資格を審査するため、現況届の提出が必要です。必ず期限内に受給者本人が提出してください（ただし、児童扶養手当を受給している人は不要です）。

提出書類

- ①ひとり親家庭等医療費現況届（郵送予定）
- ②印鑑
- ③健康保険証（家族全員）の写し
- ④その他 ・養育費の申告書
・障害認定調査
・身体障害者手帳の写しなど

※平成23年1月2日以降に毛呂山町に転入した人は、前住所地の役所で発行される平成23年度課税・非課税証明書（平成22年中所得）も必要です。

提出期限 11月1日（火）～30日（水）

■児童就学支度金支給制度

埼玉県では、低所得のひとり親家庭の児童が中学校へ入学するときに、必要な経費の一部を助成しています。次に該当する人は、12月28日（水）までに申請してください。なお受付期限を過ぎると、申請を受け付けられません。また、申請書を提出しない人は支給されませんのでご注意ください。

対象 母子家庭の母、父子家庭の父、または父母のいない児童を養育している人で、平成24年4月に中学校へ就学する児童を養育している市町村民税非課税世帯の人（ただし、生活保護受給世帯の人を除く）

※市町村民税非課税世帯とは、申請者および申請者と同居している扶養義務者それぞれ全員の市町村民税額が0円の世帯です。

支給額 中学校入学児童一人につき 10,000円

申請方法 役場子ども課で申請書を受け取り、お申し込みください。なお、申請には振込金融機関がわかる通帳など（ゆうちょ銀行は除く）と児童扶養手当証書および、ひとり親家庭等医療費受給者証が必要です。

高齢者肺炎球菌の予防接種について

問 保健センター ☎ (294) 5511

肺炎は、死亡原因の中で第4位となっています。高齢者の肺炎では、急速に症状が進んだ場合、抗生物質などの治療が間に合わないことも少なくありません。このため、肺炎球菌による肺炎などの予防として、肺炎球菌ワクチンが開発され、接種できるようになっています。

町では、70歳以上の高齢者の皆さんの健康づくりをお手伝いするため、肺炎球菌予防接種を受ける人の料金の一部を助成しますので、この機会にぜひお受けください。

■助成対象：毛呂山町に住所がある人で、以下のすべてに該当する人

- ①接種日において、満70歳以上の人
- ②これまで（5年以内）肺炎球菌予防接種を受けたことがない人（助成は1回限りになります）
- ③健康保険の適用がない人（脾臓を摘出した人は健康保険の適用があります）

■接種方法：事前に医療機関に予約し、保健センターへ予約票を申請してください。

■助成金額：町の助成金額は3,000円です。予防接種を希望する人は、予防接種料金から助成金額を差し引いた額を医療機関の窓口でお支払いください。

■特徴：肺炎による感染症の約80%に効果が期待されます。通常1回の接種で約5年間、免疫が持続するといわれています。

■注意点：すべての肺炎を予防するものではありません。また、接種後、免疫（抗体）ができるまで平均約1か月程度かかります。注射部位の痛みなどの副反応が強くなることもあるため、再接種（2回目の接種）は基本的に5年間できません（助成は1回限りになります）。注射部位の腫れ、痛み、軽い熱などがみられることがありますが、通常3日程度でおさまります。なお、このワクチンの成分が原因となって肺炎を引き起こすことはありません。

【指定医療機関（いずれも予約制です。また、医療機関は変更になる場合があります）】

医療機関名	所在地	電話番号	医療機関名	所在地	電話番号
埼玉医科大学病院	毛呂本郷38	(276) 1125	市川医院	越生町越生981	(292) 3011
長瀬クリニック	川角133-6	(295) 0708	越生メディカルクリニック	越生町黒岩199-1	(277) 1119
根岸内科医院	下川原171	(295) 3959	かあいファミリークリニック	越生町上野1025	(299) 6222
初野医院	長瀬718	(294) 7713	埼玉・長島クリニック	越生町越生東3-1-14	(292) 7227
ゆずの木台クリニック	中央2-5-5	(295) 5158	伊利医院	坂戸市竹之内199	(281) 0431
毛呂病院	毛呂本郷38	(276) 1496	坂戸西診療所	坂戸市北峰33	(289) 5111

「もろ丸くん学習ノート」 ができました！

問 教育委員会学校教育課
☎ (295) 2112 内線 532

教育委員会では、新たに町独自の学習ノートを作りました。子どもたちが基本的な生活習慣を身につけ、夢や希望に向かってたくましく生きるために、家庭と学校が同じ視点に立ち、基礎学力の定着に向けて、子どもたちを応援できるように工夫しました。

冒頭の「のびよ毛呂山っ子」には、保護者へお願いしたい家庭生活・家庭学習のありかたを掲載しました。

「がんばりチェックシート」は、子どもたちが勉強時間を記録することにより、努力が形になって見えるように作られています。

今後、「もろ丸くん学習ノート」を年3回配布して、子どもたちの自発的な成長を応援していきます。



第56回 毛呂山町成人のつどい

申・問 教育委員会生涯学習課
☎ (295) 2112 内線 521・522

日 時 平成24年1月8日(日)
午後1時30分から
(受付は午後0時30分から)



場 所 毛呂山町福祉会館

対 象 平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人(対象者には、11月上旬ごろ案内状をお送りします)

子宮頸がんワクチン接種事業 ～対象ワクチンを追加～

問 保健センター ☎ (294) 5511

町では、今年度から子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額助成を行っています。ワクチンについては、これまでグラクソ・スミスクライン(株)が製造販売するワクチン(製品名:サーバリックス)のみが供給されていましたが、7月1日付けで薬事承認を受けたMSD(株)のワクチン(製品名:ガーダシル)についても、9月15日から接種費用助成対象となりました。

接種にあたっては、医師とよくご相談のうえ、使用するワクチンを選択してください(医療機関へ申し込む時に、取り扱いの有無を確認してください)。

Q: サーバリックスとガーダシルの違いは?

A: サーバリックスは子宮頸がんの原因となる発がん性HPV(ヒトパピローマウイルス)の16型と18型の感染を予防する2種類の型に対応したワクチンです。

ガーダシルは、16型、18型に尖圭コンジローマという病気の原因となる6型、11型の感染を予防する効果を加えた4種類の型に対応したワクチンです。

Q: 接種回数と間隔の違いは?

A: サーバリックスは初回・1か月後・6か月後の計3回です。

ガーダシルは初回・2か月後・6か月後の計3回です。

Q: 既にサーバリックスで接種を開始していますが、次回からガーダシルに変更できますか?

A: サーバリックスとガーダシルには互換性はありません。途中から変更することもできません。

東日本大震災関連情報掲示板

毛呂山町へ避難された方へ

避難された方の現状確認について

地震・津波・原発により毛呂山町へ避難された方は、埼玉県を通じてお住まいになっていた県へ避難していることを報告しますので、下記担当までご連絡ください。

☎ 役場企画財政課 ☎ 内線 321

毛呂山町の水道水は安全です

9月1日、8日、15日、22日、29日、町の水道水について、放射線量測定を行いました。その結果、放射性ヨウ素、放射性セシウムともに不検出となりましたのでお知らせします。

☎ 役場水道課 ☎ 内線 165

焼却灰（^{ひばい}飛灰）の放射性物質測定結果

埼玉西部環境保全組合では、高倉クリーンセンターの焼却灰（飛灰）の放射性物質の測定を行いました。

測定の結果、国が示す暫定的基準値の放射性セシウム合計8,000Bq（ベクレル）/Kgを下回るものでした。

☎ 役場生活環境課環境係 ☎ 内線 212

「東日本大震災義援金」へのご協力ありがとうございます

東日本大震災義援金へ、多くの皆さまから温かいお気持ちをお寄せいただきまして、ありがとうございます。

10月5日現在、義援金額7,833,820円のご協力をいただいております。お預かりした義援金は日本赤十字社に送金し、被災者の方がたに配分されます。引き続き皆さまのご協力をお願いします。

☎ 日本赤十字社埼玉県支部毛呂山町分区分（役場福祉課地域福祉係内 ☎ 内線 111・112）

町内の空間放射線量の測定結果について

毛呂山町では、町内14施設17地点で空間放射線量の測定を行いました。測定結果は、以下のとおりで日常生活に支障のない値でした。

測定日 10月6日（木） 天候 晴れ

測定地点		測定値	測定地点		測定値
上町保育園	園庭	0.06	光山小学校	校庭	0.05
	砂場	0.06	毛呂山中学校	校庭	0.06
若草保育園	園庭	0.07	川角中学校	校庭	0.05
	砂場	0.06	前久保中央公園		0.05
旭台保育園	園庭	0.07	かわせみ公園		0.07
	砂場	0.07	総合公園グラウンド		0.05
毛呂山小学校	校庭	0.07	大類グラウンド		0.07
泉野小学校	校庭	0.07	岩井グラウンド		0.05
川角小学校	校庭	0.06			-

※地上5センチメートルでの測定値。単位はマイクロシーベルト

※調査結果は、町ホームページ（HP <http://www.town.moroyama.saitama.jp/>）でもご覧になれます。

☎ 役場生活環境課環境係 ☎ 内線 212

農産物の放射性物質調査結果について

町では、町内産の農産物の安全性を確認するため、町独自で放射性物質調査を実施しました。9月29日～30日に、サトイモ、ジャガイモ、サツマイモ、シイタケ、ナスの5品目について調査しました。調査の結果、すべての農産物で放射性物質は検出されませんでしたのでお知らせします。

分析機関（財）日本食品分析センター

☎ 役場産業振興課 ☎ 内線 171

山根荘趣味の会定例行事

11月の休館日	3日 5日 6日 12日 13日 19日 20日 23日 26日 27日	ざんれい会（大正琴）	4日
ゲートボール	7日 14日 28日	三味線・民謡の会	10日 17日
パタンク	21日（大会）	手芸の会	9日 30日
声を出す会	2日 16日	カラオケ同好会	7日 21日 （厚年カラオケ）25日
謡寿会	8日 22日	吟友会	9日 30日
民謡同好会	14日 28日	書道の会	9日 30日
俳句の会	11日 25日【季語 冬浅し（ふゆあさし）、白菜（はくさい）】	舞わかば会	9日 30日
囲碁・将棋の会	2日 4日 9日 11日 16日 25日 30日	FDカトレア	11日 25日
お茶の会	4日	健康体操教室	7日
茜会（お花）	14日 28日	楓の会	11日
ダンス同好会	4日 18日（文化祭）	押し花の会	7日 14日
		光華の会	14日 28日
		山根塾	10日

山根荘は、町内在住で60歳以上の人でしたら、どなたでも無料でご利用になれます。

リサイクル情報

●ゆずりたい品物

- ・炊飯用土鍋（中古・無料）

●ゆずってほしい品物

なし

紹介したい品物がありましたら、お気軽にお申し込みください。また、交渉が成立した場合には、必ずご連絡ください。

掲載期間 3か月

☎・☎ 役場産業振興課商工観光係

☎ 内線 175

県指定無形民俗文化財

いずもいわい 出雲伊波比神社の 流鏑馬やぶさめ が奉納ほうのうされます

日にち **11月3日(祝)**

時間 朝あさ的てい 午前9時から(30分程度)
夕ゆふ的てい 午後2時30分ごろ～5時ごろ

場所 出雲伊波比神社

900余年の伝統がある出雲伊波比神社の流鏑馬の本祭では、町内の小・中学生のなかから選ばれた乗り子が、矢的やまと、センス、ノロシなど、様々な馬上芸を披露します。また、本祭に至るまでにも様々な行事が行われます。伝統ある流鏑馬に触れてみませんか。

本祭(11月3日)に至るまでの行事

■10月8日「口固め」馬の借り入れの約束をする。

■10月23日「稽古はじめ」神社の馬場で稽古が始められる。

■10月31日「稽古じまい、お精進」馬場での稽古が終わり、乗り子が神社におこもりをする。

■11月1日「乗込み・房切り行事」的宿まじりやどに乘込み、その夜乗り子の花笠飾りを切る。

■11月2日「重殿行き・焼米の饗応(前久保)・神職家饗応・追出の餅つき」本祭に向け古式にのっとり、様々な儀式が行われる。

■11月3日「本祭」朝あさ的てい野陣のしん・追出の酒盛り・出陣・夕ゆふ的ていなど若武者が三騎の馬に騎乗し、馬上芸を披露する。

問 歴史民俗資料館 ☎295-82882



ヤングフェスティバル2011

問 教育委員会生涯学習課学習支援係 ☎(295) 2112 内線 521

相談員のお兄さん、お姉さんと一緒に遊びましょう！ みんなで楽しめる遊びをたくさん用意して待ってるよ！



日時 11月3日(祝) 午前9時～午後3時
場所 福祉会館駐車場
内容 あたってポン！ クラフトなど
※申込み不要。直接会場へ。
主催 毛呂山町青少年相談員協議会

第40回 毛呂山菊花展覧会

問 毛呂山菊花会会長大山 ☎(294) 0684 または 教育委員会生涯学習課 ☎(295) 2112 内線 521・522

町民の皆さんが丹精込めて育てた菊が見事に咲き競います。流鏑馬祭りと一緒にぜひご鑑賞ください。



期日 11月2日(水)～4日(金)
(最終日は午前中のみ)
場所 福祉会館駐車場
主催 毛呂山菊花会

がんばろう日本！ 復興支援事業 第13回 もろやまゆずの里ウォーク

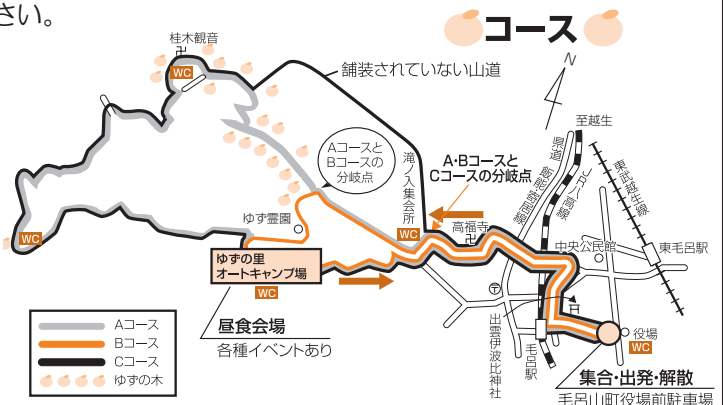
11月23日(祝)
小雨決行!!

問 中央公民館 ☎ (294) 1250、FAX (294) 1040
E kkoumin@town.moroyama.saitama.jp

わが町特産の『ゆず』は、まさにこの時期最盛期をむかえます。小さな太陽のように黄金色に色づいたゆずが、常緑の山にたわわに実る様子はとても美しく、見る人の心を奪います。また、赤や黄色に紅葉した山々の季節でもあります。そんな美しい毛呂山の山里を、のんびり・ゆっくり歩きませんか？

コースは3種類、ご自分のペースでお楽しみください。

- Aコース** (14km・舗装路中心)
受付 午前 9時～ 9時 30分
- Bコース** (7km・舗装路中心)
受付 午前10時～10時 30分
- Cコース** (14km・山道中心)
受付 午前 9時～ 9時 30分
- 各コースとも受付が済み次第、随時スタートです。
- 最終ゴールは午後3時までです。
- 小雨決行です。



集合・出発・解散 役場前駐車場
参加費 200円 (保険代など)
持ち物 弁当・水筒・雨具
申込み・問合せ 電話またはファクス・電子メール、毛呂山町ホームページまたは携帯電話の電子申請 (QRコードからアクセス可) で、①氏名 (複数参加の場合は代表者)、②電話番号、③参加人数、④参加コースを中央公民館「ゆずの里ウォーク」係までお知らせください。



QRコード

お楽しみイベント

- 場所** 屋食会場 (ゆずの里オートキャンプ場)
- ゆず湯のサービス
 - 地元特産物の直売コーナー、軽食コーナー
 - 親子ふれあいゲーム大会

～心をひとつに がんばろう日本！ 復興支援事業～ 第38回 ♪毛呂山町音楽祭♪

問 教育委員会生涯学習課
☎ (295) 2112 内線 521・522

芸術の秋です!! 美しい調に耳を傾けてみませんか。心に響くメロディー・澄んだ歌声をお楽しみください。

日にち 11月6日(日)
時間 開演/午後0時30分から
終演/午後3時40分(予定)

場所 福祉会館ホール
出演団体 ■学校関係 毛呂山小学校、泉野小学校、毛呂山中学校

■町内音楽団体 毛呂山女声コーラス、童謡唱歌を歌う会、毛呂山ハンドベルクラブ、いちりん草、フルートアンサンブル風音、目白台コーラス、毛呂山オカリナクラブ、毛呂山コーラス、県立坂戸高等学校吹奏楽部OB楽団、ゆず音、Figaro



第12回 鎌北湖紅葉まつり

問 毛呂山町観光協会事務局 (役場産業振興課内)
☎ (295) 2112 内線 175

日時 11月20日(日) (小雨決行)
場所 鎌北湖畔

■ゆず娘写真撮影会
ゆず娘の写真撮影を行います。
開催時間 午前10時～正午、午後1時～3時
※午前、午後ともに15分の休憩があります。

■鎌北湖クイズウォーク
開催時間 午前10時～正午、午後1時～3時

- 写真コンクール
- ①ゆず娘写真の部 / 11月20日の写真撮影会で撮影した未発表の作品
 - ②観光写真の部 / 町内の観光地の写真で1年以内に撮影した未発表の作品
 - ③風景写真の部 / 1年以内に鎌北湖で撮影した未発表の作品

※からみもちやゆず湯の無料サービスもあります。
※詳しくは、役場1階町民ホール、両公民館、町内写真展などに置いてある応募要項をご覧ください。





保健センターからのお知らせ

申込み・問合せ・実施場所
保健センター ☎ 049(294)5511

うつ病患者のご家族へ

うつ病患者の家族を対象とした会を毎月1回ずつ開催し、情報交換や学習会を行っています。詳しくは、保健センターまで、お問い合わせください。



検診

胃がん検診・胸部X線検診(肺がん・結核)(受診回数/年1回)

日時 11月18日(金)午前

対象 40歳以上

費用 胃がん/600円

胸部X線検診/200円(喀痰細胞検査/500円)

申込み 10月27日(木)から受付(先着各120人)

当日の受付時間は申込み時にお知らせします。

※生活保護世帯の人は無料となりますので、申込み時にお申し出ください。なお、検診当日、印鑑と受給者証をご持参ください。



健康相談

成人健康相談(心と体の相談)

11月2日(水) 9:00~12:00 場 保健センター

11月29日(火) 9:30~11:30 場 役場ホール

老人健康相談(山根荘利用者のみ)

11月15日(火) 9:30~11:30 場 山根荘

電話相談 月~金曜日(祝日を除く)9:00~17:00



子ども

乳幼児の予防接種

BCG予防接種 11月4日(金) 申 10/28(金)から

麻しん風しん(MR)予防接種 11月8日(火) 申 11/1(火)から

三種混合 11月7日(月) 申 10/31(月)から

ポリオ 11月11日(金) 申 11/4(金)から

日本脳炎 11月9日(水) 申 11/2(水)から

// 11月30日(水) 申 11/22(火)から

乳幼児健診 ※対象者には個別に通知します。

4か月児健診 11月1日(火) 対 H23, 6生まれの児

10か月児健診 11月2日(水) 対 H22, 12生まれの児

1歳6か月児健診 11月17日(木) 対 H22, 4生まれの児

3歳児健診 11月16日(水) 対 H20, 5生まれの児

つくしんぼ(赤ちゃん)サロン

日時 11月30日(水) 10:15~11:30(受付は10:00~10:15)

内容 親子遊びの紹介、参加者の交流

対象 3か月~1歳3か月の第一子

個別健康診査(受診は1年に1回)

実施月 12月 申込み 11月8日(火)~18日(金)

対象 後期高齢者医療制度の加入者(平成23年9月末までに加入している人)

内容 問診・身体計測・血圧測定・尿検査・血液検査・医師の診察など

費用 500円 定員 先着25人

手順 ①保健センターに申込み、受診券を受け取る(受診券は郵送します)。

②医療機関を選び、健診の予約をして受診する。

※受診当日は、保健センターから届いたすべての書類を医療機関へご持参ください。

場所 次のなかから1か所を選択

埼玉医科大学病院健康管理センター、長瀬クリニック、根岸内科医院、初野医院、毛呂病院、ゆずの木クリニック、市川医院、越生メディカルクリニック、かあいファミリークリニック

肝炎ウイルス検診

日にち 11月14日(月)

時間 14:30~15:30 費用 無料

申込み 10月31日(月)まで保健センターで受付

場所 保健センター

対象 満40歳以上になる人(今年度40歳になる人を含む)で、次の①から⑤の項目のいずれにも当てはまらない人。①過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがある人。②C型肝炎の治療を受けたことがある人・受けている人。③B型肝炎の治療を受けている人。④大きな手術(開胸手術、開腹手術など)を受けたことがあり、定期的に肝機能検査を受けている人。⑤妊娠・分娩時に多量に出血したことがあり、定期的に肝機能検査を受けている人

内容 血液検査 定員 先着25人

11月の在宅当番医 9:00~12:00

日にち	医療機関名	専科	住所	電話
11/3(祝)	根岸内科医院	内科・小児科	下川原171	295-3959
11/23(祝)	初野医院	内科	長瀬718	294-7713

※埼玉医科大学病院(毛呂本郷38 ☎ 276-1465)は、救急部が日曜・祝日を問わず救急患者を受け入れています。



11月の行事カレンダー

毛呂山町役場 ☎ (295) 2112

日	月	火	水	木	金	土	
		1 ・乳製品を使った料理教室 場 保健センター→P24 ・幼児クラブ火曜コース 場 児童館	2 ・びよんびよん広場 場 児童館→P15 ・菊花展 場 福祉会館→P30	3 文化の日 ☎ 児 ・流鏑馬 場 出雲伊波比神社→P30 ・菊花展 場 福祉会館→P30	4 歴 ・幼児クラブ木曜コース 場 児童館 ・菊花展 場 福祉会館→P30 ・学童保育入所説明会 場 各学童保育所→P20	5 ・体育施設12月分調整会議 場 総合公園	
6 児 ・毛呂山町音楽祭 場 福祉会館→P31 ・ふれあい広場 場 役場駐車場→P26 ・消防団特別点検 場 泉野小学校→P21 ・般若心経を書く 場 図書館 ・トレーニング機器説明会 場 総合公園 ・12月分総合公園予約日 場 総合公園	7 歴 児 体 ・町立保育園 園庭開放 場 旭台保育園→P20 ・健康づくり教室 場 東公民館	8 ・幼児クラブ火曜コース 場 児童館	9 ・高齢運転者再教育 場 おごせ自動車学校→P25 ・入間西障害者相談支援センター出張相談 場 役場相談室→P23	10 ・切り絵講座 場 図書館→P15 ・幼児クラブ木曜コース 場 児童館 ・子育てサロン 場 東公民館 ・健康づくり教室 場 東公民館	11	12 ・産業まつり 場 総合公園 ・子ども映画会 場 図書館→P15	
13 児 ・産業まつり 場 総合公園	14 歴 児 体 ・町立保育園 園庭開放 場 若草保育園→P20 ・健康づくり教室 場 東公民館	15	16 ・びよんびよん広場 場 児童館→P15	17 ・切り絵講座 場 図書館→P15 ・健康づくり教室 場 東公民館	18	19	
20 児 ・鎌北湖紅葉まつり 場 鎌北湖→P31 ・グラウンドゴルフ大会 場 大類グラウンド→P24 ・郷土歴史講座 場 歴史民俗資料館→P24	21 歴 児 体 ・町立保育園 園庭開放 場 上町保育園→P20 ・健康づくり教室 場 東公民館	22	23 勤労感謝の日 児 ・ゆずの里ウォーク 場 町内→P31 ・高齢運転者再教育 場 おごせ自動車学校→P25 ・川越市場まつり 場 川越総合卸売市場→P21	24 歴 ・子育てサロン 場 福祉会館 ・健康づくり教室 場 東公民館	25	26 ・おはなし会 場 図書館→P15 ・父親クラブ 場 児童館→P15	
27 児 ・ゆずの里商店街秋祭り 場 いちょう広場→P26 ・休日納税・納入窓口 場 役場→P20 ・解説 毛呂山町の歴史 場 歴史民俗資料館→P24 ・町民卓球大会 場 総合公園→P25	28 歴 児 体 ・健康づくり教室 場 東公民館	29 ・歌声講座 場 東公民館→P24	30 児 ・びよんびよん広場 場 児童館→P15 ・つくしんぼサロン 場 保健センター→P32	施設のお休みマーク ☎ 図書館 歴 歴史民俗資料館 児 児童館 体 町内体育施設（総合公園体育館・グラウンド、大類グラウンド・ソフトボールパーク、川角公園、西戸・川角・岩井・目白台各グラウンド、弓道場）			

場=場所

11月の相談コーナー

法律相談

- 弁護士（要予約）
11月10日（水）、28日（月）
13:30～16:00
 - 行政書士
11月16日（水）
10:00～15:00
- 場 所 役場会議室
問 合 せ 総務課自治振興係 ☎内線314
- ✳土地家屋のトラブル、金銭貸借や補償、相続問題など

人権・行政相談

- 11月10日（水）13:30～16:00
場 所 役場会議室
問 合 せ 総務課自治振興係 ☎内線314
- ✳人権問題・行政に関する苦情など

心配ごと相談

- 毎週水曜日 10:00～12:00
場 所 福祉会館
問 合 せ 社会福祉協議会 ☎(295)3111
- ✳生活上の悩み、困りごとなど

教育相談

- 月～金 10:00～16:30
場 所 教育センター
電 話 相 談 番 号 ☎(295)2525
- ✳不登校、いじめ、しつけなど

消費生活相談

- 毎週水曜日 10:00～15:00
※11月16日（水）は15日（火）に変更
場 所 役場相談室1
問 合 せ 産業振興課 ☎内線175
- ✳違法な契約や商品の苦情など

11月の納期限

- 固定資産税 4期
- 国民健康保険税 6期
- 介護保険料 6期
- 後期高齢者医療保険料 5期

税金・保険料は納期限内に忘れずに納めましょう！



県道飯能寄居線日高市との境付近
昭和30年代後半（村田才次さん提供）

昭和30年代後半、現在の埼玉医科大学国際医療センター前の道路を、日高方面から撮影した写真です。当時は、道が舗装されておらず、住宅の周りには畑が広がっていました。現在では、新飯能寄居線の建設工事が進められています。新飯能寄居線はもうじき完成する予定です。



現在の風景

お知らせ

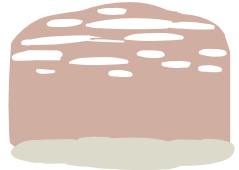
長い間、広報もろやまの裏表紙の顔として続けさせていただいた毛呂山思い出写真館は、掲載可能な写真が不足しているため、今後の掲載継続が難しくなっています。昭和60年代ごろまでの昔の写真が皆さんの家庭にも眠っていませんか？ 写真を貸していただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295) 2112 内線332までご連絡ください。



後然歳時記



秋になると、澄みわたった青空に特徴的な雲の群れが見えることがあります。「鯛雲」や「うろこ雲」というこれらの雲の名を皆さんも耳にされたことがあるでしょう。



「鯛雲」も「うろこ雲」も、呼び方は違っているものの明確な区別はありません。青空に白い小石を並べたような雲の群れが、海原を泳ぐ鯛の大群や魚のうろこのように見えたことから、名づけられました。また、「鯛雲」が出ると、実際の漁でも鯛が大漁になると漁師さんの間では言われてきました。

「鯛雲」や「うろこ雲」よりも雲の塊が大きいものは、サバの背にある斑点模様に似ていることから、「鯖雲」と呼ばれています。「鯛雲」「うろこ雲」「鯖雲」。これらは全て、地上より5~13キロメートル上空にできる「巻積雲」という雲の種類に属しており、天気の下り坂に向かう時によく見られます。

さらに、これらによく似た雲に「ひつじ雲」があります。モコモコとした可愛い姿がまるでひつじの群れのように見えることから名づけられました。「ひつじ雲」は、地上2~7キロメートルくらいの上空にできる「高積雲」に属します。俳句の世界では「天高し」という秋の季語がありますが、実際のところ、秋は雲が比較的高い位置に出ることが多いため、空が高いところにあるように見えます。

ところで、桂木観音下に先月ベンチが出来ました。空が澄んだ日には、空に少しだけ近いあの場所から、どんな秋の雲が眺められるのでしょうか。



広報マンになって1年半がたちました。イベントの取材に行くと、毎回たくさん笑顔に出会います。その瞬間の表情を逃さないようにシャッターを切るのなかなか難しいものです。秋はイベントが盛りだくさん！「今月のとびきりスマイル」の表紙に、私の撮った写真が載せられるように、がんばります(N)

わがやのアイドル



森泉 優愛ちゃん
(1歳2か月)

いつも元気な優愛ちゃん!! 外で遊ぶの大好き。いたずら大好き。明日は何して遊ぼうかな? たくさんお友達できるといいね☆ 幸せをありがとう。



高木 奏弥くん
(10か月)

毎日モリモリ食べて元気にマルマルになりました。得意技はピアノを弾くことです♪ これからもたくさん食べて元気に育てね。

■ 秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
☎・☎ 役場秘書広報課 ☎(295) 2112 内線332

人口 36,291人 (-1人)
【男 18,084人 (+6人) 女 18,207人 (-7人)】
世帯 15,792戸 (+12戸)
※平成23年10月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。

